

「新型インフルエンザワクチン（A/H1N1）の接種について（素案）」  
に関する意見書

平成21年9月9日

全国保健所長会

厚生労働大臣 殿

全国保健所長会

会 長 澁谷 いづみ

日頃から全国保健所長会の活動に関し、種々ご支援いただきましてありがとうございます。

さて、9月4日に厚生労働省から発出されました、「新型インフルエンザ（A/H1N1）ワクチンの接種について（素案）」について、全国保健所長会として、以下の確認とお願いをいたします。

示された素案では、優先接種の必要性について「死亡者や重症者の発生をできる限り減らすこと及びそのために必要な医療を確保すること」とされ、優先順位は「インフルエンザ患者の診療に従事する医療従事者、妊婦及び基礎疾患を有する者（この中でも、1歳～就学前の小児の接種を優先）、1歳～就学前の小児、1歳未満の小児の両親」としています。

この中の「医療従事者」として、新型インフルエンザ対応を担当する保健所職員は当然含まれると思いますが、確認をお願いいたします。

保健所職員は、これまでも地域で感染症予防法に基づき、自ら受診できない患者輸送を行ってきました。また、検体の採取、重症患者の早期発見、濃厚接触者に対する疫学調査や、重症化しやすいハイリスク集団への予防活動など、最前線に立って活動しております。

従いまして、保健所職員が多数感染した場合、重症患者対策を含め、地域における新型インフルエンザ対策を継続することが困難となります。

以上のことから、保健所職員を優先接種者と確認し、素案の第一優先を「直接、インフルエンザ患者の診療に従事する医療従事者（救急隊員、保健所職員を含む）」と保健所職員を明記していただくようお願いいたします。